

- 1 主題名 項目1－(4)理想の実現
- 2 資料名 夢にかける橋 (道徳教育映像教材DVD)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらい

本主題は『かけがえのない自分』－自立した生き方の探究－である。昨年度職場体験を経験し、生徒たちは職業調べを通して将来のことについて考えることができた。現実性に重きを置いて考える生徒、理想を追い求める傾向のある生徒、全く未来を想像できない生徒といろいろである。中学生の時期は、焦ることなく自分の将来の可能性を広げる努力をしてほしいと思う。そしていつか自分の目標が決まった時、たとえその道が苦難なものであっても、安易に妥協することなく現実を厳しく見つめながら、前向きに人生を切り開いていく。その大切さに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

(2) ねらいから見た生徒の実態

男子〇〇名、女子〇〇名の計〇〇名の学級である。

本主題に関するアンケートの結果は以下の通りである。(実態調査時〇〇名) 〇月〇日実施

(程度) ◎ よく考えている ○ある程度考えている △できていない

質問事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1 将来の夢を持っている																		
2 夢の叶え方を知っている																		
3 その為の準備を始めている																		
4 家族と話し合っている																		

質問事項	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1 将来の夢を持っている																	
2 夢の叶え方を知っている																	
3 その為の準備を始めている																	
4 家族と話し合っている																	

アンケートを集約すると、具体的に将来の夢を持っている生徒が〇〇人、具体的とは言えないが夢があると答えた生徒がほぼ同数の〇〇人で、合わせると全体の〇%にあたる。また、〇〇人は、自分の夢の叶え方をおおよそでも知っていると答えている。このように、将来について意識の高い生徒にとっては、「絵里子」の行動を自分の立場で具体的に考えることができるものと推測する。また、まだ何も決まっていないと答えた生徒、No.〇、〇、〇にとっては、将来の考え方について、色々と驚きを伴いながらも参考になるものと考え。アンケートより、夢を叶えるために行動を起こしている生徒は〇〇人で、全体の〇%であり、将来について家族と話し合ったことのある生徒は〇%と、半分以上が関心を持っていることがわかる。恥ずかしいので、具体的に人に語るまでに至っていないと答えた生徒も数名見られるので、様々な視点から自分の将来を考えられるようにしたい。

(3) 資料について

本資料は映像作品である。主人公の絵里子は、これからの生き方を模索する中で、「上総掘り」に出会う。「自分のやりたいこと」は何かと自らに問いかけながら成長していく。今回は前半の映像を利用し、両親に反対された後の後半部をカットし、絵里子はどう行動したらいいのかを考えさせることで主題に迫りたい。考えさせる際には「絵里子は上総掘りに挑戦すべきだ」と「絵里子はもう一度大学受験をすべきだ」の 2 つの意見のどちらかを選ばせる。そして各自に付箋を渡し、自分の氏名を書いた付箋を貼っていくことで、生徒個々の意見を把握し、指名につなげたい。特に 2 つの意見の境界線に近い意見や、話し合いの過程で移動した意見の生徒をとりあげ、理由を問うことで思考を深めさせたい。

この資料の最大のポイントは、最後のインタビューである。大野篤志さんは「上総掘り」がそのまま現地で実施できないことに気づき、「新方式上総掘り」を考案する。これにより、全て現地の材料で現地の人々だけで、井戸が掘れるようになったわけである。このエピソードは、「援助物資が役に立たない」や「援助国の技術者がいなくなった途端、最先端器機がごみと化する」という現実を嫌でも思い出させる。本当に現地の人々に役に立つ、そして長く使える技術を伝えることの大切さが伝わってくるのである。事実としての重みや映像の力を最大限に活用するために、このインタビュー部分を活用したい。

4 指導計画

事前指導…将来の夢についてアンケート調査を実施する。

本時 …主人公「絵里子」の生き方を考えながら、自らを見つめ直し、これからの方向性を見出させる。

事後指導…総合、学活を通して、卒業後の進路だけでなく、将来の仕事も含めて、生き方を考えさせていく。

5 本時の指導

(1) ねらい

大学受験に失敗し、目標を失った主人公の心情を共感的に理解し、自らを見つめ直し、価値のある生き方を求めて、自分の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。

(2) 研究主題との関連

仮説① 自分の考えや意見をまとめ、互いに交換し合う場を設定すれば、コミュニケーション能力が培われるであろう。

仮説② DVD や視聴覚機器、絵などの活用を通して、道徳的価値に迫る授業を繰り返すことにより、生徒の意欲も高まり、表現力の育成につながるであろう。

研究仮説①から、班別に絵里子の生き方について、「自分ならば」と様々な視点から話し合うことにより、コミュニケーション能力を高めていきたい。

研究仮説②から、本時は DVD の視聴と、資料の挿絵を提示し、年齢の近い主人公の心情に近づくことにより、自分の考えを表現することにつなげたい。

(3) 展開

学習内容と主な発問	期待される生徒の反応	時配 (形態)	指導上の留意点・支援と評価 (△印は評価)
1 今どんな夢を持っているか発表する。	1 夢を語る ・ 保育士になりたい。 ・ 整備士になりたい。 ・ まだ何も考えていない。	一斉 (5分)	・ 自分自身の夢を発表させ、導入とする。 ・ DVD からプリントアウトした写真を 3 枚掲示しイメージを喚起させる。 [資料] 写真
2 「上総掘り」について理解を深める。	2 「上総掘り」について考える。 ・ 聞いたことはある。 ・ 初めて聞く。		

<p>3 DVD ドラマ資料を途中（両親に反対されるシーン）まで視聴する。</p>	<p>3 絵里子の気持ちを考えながら視聴する。</p>	<p>一斉 (15分)</p>	<p>① アフリカの上総掘り ②③現地の水くみの様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な資料から上総掘りのイメージをつかませる。 この場面で絵里子がどんな気持ちだったか共感的に想像させる。
<p>4 父に青年海外協力隊への参加を反対された時、絵里子はどんな気持ちだっただろうか。</p>	<p>4 絵里子の気持ちを語る。</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ、気持ちをわかってくれないのか。 やっとやりたいことを見つけたのに。 「夢を持って」と言っていたのに、前と言っていることが違う。 おじいちゃんなら、私の気持ちを理解してくれる。 	<p>個別 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入してから、発表させる。 <p>△ 絵里子の気持ちをとらえているか。 (ワークシート)</p>
<p>5 「絵里子は上総掘りに挑戦すべきだ」「絵里子はもう一度大学受験をすべきだ」の2つの意見のうち、自分の意見に近いほうに自分の名前を書いた付箋を貼る。</p>	<p>5 自分の意見に近い位置に、付箋を貼っていく。</p>	<p>個別 (5分)</p>	<p>[資料] DVD「上総掘り」ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板に全員の付箋を貼らせる。 <p>[資料] 付箋 意見を書いた紙</p>
<p>6 今後の絵里子について、どうすべきか班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見が変わったら、付箋を移動する。 	<p>6 班で意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> やっと見つけられた夢だから、やり遂げたほうがいい。 海外に出る前に、もっと勉強する必要があると思う。 	<p>班別 (8分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表の際には、必ず理由を述べるように指示する。 考えにくい場合は「もし自分だったら」どうするか、と問う。 <p>△ 自分の意見が出せているか。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見が変わった生徒は、自分の付箋を移動させる 意見が変わった生徒に、なぜ変わったのか、どう変わったのかを問う。
<p>7 DVD 資料の最後のインタビュー部分を視聴する。</p>	<p>7 ワークシートに感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の将来について、考え方の参考になった。 自分の計画では、まだまだ甘いことがわかった。 	<p>一斉 (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大野篤史さんの苦労や現地の人のための活動について、とらえさせる。 <p>[資料] DVD</p>
<p>8 今日の授業の感想をワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>7 ワークシートに感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の将来について、考え方の参考になった。 自分の計画では、まだまだ甘いことがわかった。 	<p>個別 (9分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3～4人に発表させ、価値の主体的自覚を促す。 <p>[資料] ワークシート</p>

